

科目名	English Writing 2			ナンバリング	COM144	授業形態	講義
対象学年	2年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	西村康平	担当教員					

授業の概要	English Writing 1に引き続き、様々なテーマについて英語ライティングを行う上での必要な知識・技術などを学びながら、自身の考えを英語で表現できるようになることを目標とする。また、実践的にパラグラフライティングを練習することで、英語文章の構造や論証形式を理解しながら適切なトピックセンテンスやサポーティングセンテンス、そして効果的なコンクルーディングセンテンスが書けるようになることをめざす。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々なテーマに対して自身の考えを論理的にパラグラフにまとめることができる。 2. 適切なトピックセンテンス、サポーティングセンテンスなどを書くことができる。 3. 様々な論証形式の英語文章を理解しやすい形で書くことができる。 						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	1年次に学んだ英文法や英語ライティングに関する知識を復習しておくこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<ol style="list-style-type: none"> ①意味の通る英文を書くことができる。 ②パラグラフの構造を理解し、トピックセンテンス、サポートセンテンス、コンクルーディングセンテンスを書くことができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①様々なテーマについて自身の考えを、適切かつ効果的なトピックセンテンス、サポートセンテンス、コンクルーディングセンテンスを含むパラグラフを書くことができる。 ②テーマに合わせて効果的な構成、論証形式のエッセイを書くことができる。 ③効果的な論証形式で、理解しやすい英語文章を書くことができる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○	○		○		60%
授業態度・授業への参加		○	○	○		○	40%

課題、評価のフィードバック	提出された英語エッセイを添削して返却し、適宜コメントやアドバイスを行う。
---------------	--------------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	イントロダクション	授業の概要、進め方などを説明する。前期に学んだ英語ライティングの技術について確認する。	
	第2回	Unit 8 Chronological Order (History)	時系列に物事を書く技術を学ぶ。	
	第3回	Unit 8 Chronological Order (History)	時系列に起こった出来事についての英語エッセイを書く。	
	第4回	Unit 9 Cause & Effect	原因と結果の関係を書く技術を学ぶ。	
	第5回	Unit 9 Cause & Effect	原因と結果の関係を説明する英語エッセイを書く。	
	第6回	Unit 10 Process	物事の手順の説明を書く技術を学ぶ。	
	第7回	Unit 10 Process	物事の手順の説明の英語エッセイを書く。	
	第8回	Unit 11 Explanation (New Product)	新しい物事の紹介を書く技術を学ぶ。	
	第9回	Unit 11 Explanation (New Product)	新しい物事を紹介する英語エッセイを書く。	
	第10回	Unit 12 Definition	新しい概念の定義を書く技術を学ぶ。	
	第11回	Unit 12 Definition	新しい概念の定義についての英語エッセイを書く。	
	第12回	Unit 13 Explanation (Statistics)	統計的データについて書く技術を学ぶ。	
	第13回	Unit 13 Explanation (Statistics)	統計的データを用いて物事を説明する英語エッセイを書く。	
	第14回	まとめ	前期・後期を通して学んだ英語ライティングの重要点を再度確認する。	
	第15回	自由記述	各自で選んだテーマ、論証形式を用いた英語エッセイを書く。	
	試験	期末試験は実施しない。		
授業の進め方	テキストの1ユニットを概ね2回の授業で行う。			
授業外学習の指示	<p>授業への事前準備として、テキストの予習を行っておくこと。授業後には各ユニットでの課題エッセイに取り組む。一度、提出された課題を適切に修正した上で再提出された場合、評価が上昇する可能性がある。</p> <p>(授業外学習時間: 毎週 120 分)</p>			

教科書	Skills for Better Writing 構造で書く英文エッセイ(改訂版), Y. Ishitani & Emma Andrews, Nan'un-do, ISBN: 978-4-523-17604-6
参考書	
参考URLなど	
その他	授業に関するアナウンスはManab@IMUに掲載する。随時、確認を行うこと。